

すわみつえ通信

No.297 2023年12月25日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

市民の声が届く福祉・教育優先の街づくり、命・くらし・平和守る市政に

一年間ありがとうございました

すわみつえ通信をお受け取りいただき、読んで、支えて下さった、すべての皆さんに心から感謝申し上げます



2023年を表す漢字は「税」と発表されました。政府は所得税・住民税減税

をひとり当たり4万円と閣議決定しましたが、世論調査で多くの国民は「評価しない」と答えています。減税の後に続く軍拡のための所得税増税が透けてみえているからではないでしょうか。

2022年の漢字は「戦」でした。ロシアによるウクライナ侵略が長期化する中、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への国際法違反の攻撃が始まりました。

ガザでは2万人以上が亡くなり、そのうち女性が6200人以上、子どもが約8000人と報道されました。家も食べる物もない中、空爆下で死を待つばかりの状況は一刻の猶予もありません。



即時停戦の声を上げ続けるとともに、「増税が戦争への道」とならないよう岸田政権こそ終わりにしなければならぬと思います。新しい年を希望に満ちた年にすべく決意を申し上げ、年末のご挨拶といたします。

12月議会閉会となる

11月28日開会の12月定例会は12月18日に閉会しました。

条例改定議案

●小谷小学校廃校が決まる

議会最終日、本会議で小谷小学校廃校議案について、芝野和好議員・高橋亜紀議員の賛成討論、竹田えつ子議員・西尾綾子議員・すわみつえ議員の反対討論が行われ、採決の結果、賛成多数で議案を可決しました。2025年3月31日で地域の学校がまた一つなくなります。

一般会計補正予算(第9号)議案

●小中学校給食の食材費に財政補助決まる!

議会最終日に出された一般会計補正予算で、小中学校給食食材費の補助が予算化されました。



補助の期間は、2024年4月から2025年3月までの予算で、小学校は2634万9千円、中学校は1285万7千円です。1食25円の補助となります。

すわみつえ議員は、9月議会一般質問で、給食の食材費が跳ね上がり、給食の現場は大変であることから「物価高騰に対する小中学校給食食材購入への財政補助」を取り上げました。子どもたちが楽しみにしている給食がさらに良くなることを期待します。

●物価高騰対応の給付金7万円を年内支給決定

物価高騰対応のための地方創生臨時交付金による、低所得世帯への給付金の支給は申請不要の方に対しては年内に行うことが決まりました。手続きの必要な方は年が明けてからの支給となります。

【俳句コーナー】

サンタさん「希望」を届けて
ガザの地に

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

自民裏金「赤旗」日曜版スクープ ABEMAで山本編集長語る

インターネット番組「ABEMA的ニュースショー」（12月17日放送）が、自民党派閥による政治資金パーティー収入の裏金疑惑の発端となった「しんぶん赤旗」日曜版のスクープの裏側に迫りました。「自民党にとっては不都合な事実をさらされるまさに“赤旗砲”なる存在」と紹介し山本豊彦日曜版編集長にインタビューしています。

番組は、裏金問題について「実はこの疑惑を1年以上前に報じていたある新聞があった」と日曜版2022年11月6日号の記事を紹介。記事は、自民党派閥が同じ団体に売ったパーティー券の代金を議員ごとに分散して報告することで、政治資金規正法が記載を義務付ける20万円超を購入した団体名の政治資金収支報告書への不記載を暴露しました。

政治腐敗の温床である企業・団体献金の抜け穴となってきた政治資金パーティー問題にこだわってきたと山本編集長。「若い記者が気づいたのは、（政治資金収支報告書で）同じパーティーなのにカッコで政治家の名前が書いてあるケースが結構ある。これを足すと20万円を超える。こういうふうに脱法的手法をやっているのではないかと調べあげた」とスクープのきっかけを述懐しました。

山本編集長は「時間があると（報告書を）見ていた。追及する意思がないと続かない」と述べ、「政治的、道徳的責任が問われる問題。岸田政権はどうするのですかと問題提起をしたい」と語りました。

（しんぶん赤旗 12月20日付）



インタビューに答える山本編集長（「ABEMA的ニュースショー」の動画から）

「翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～」観てリフレッシュ



議会終了とともに「議会だより」の原稿提出などの緊張が続きましたので、気になっていた『翔んで埼玉～琵琶湖より愛をこめて～』を「このすシネマ」で観て息抜きをしました。

俳優の見せ場も沢山あり、「東西」名セリフも笑いました。お隣の行田（古代蓮の里・行田タワー）も出番があり楽しめました。観終わって、たこ焼きが食べたくなりました。

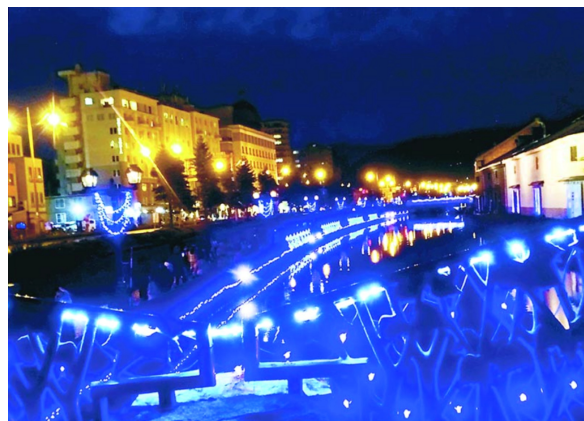


（写真右）古代蓮の里・行田タワー

癒やしの運河 北海道・小樽

北海道小樽市で、小樽港の沖合に停泊する大型船と荷物のやりとりをする「はしけ」と呼ばれる小型船をさばくために造られた小樽運河は、今年で竣工100周年。海を連想させる青色のLED（発光ダイオード）1万個で、冬の運河をロマンチックに彩る「青い運河」になっています。来年1月31日まで。（写真）

日没後、空に青みが残る中、イルミネーションの青と空、街頭の光が相まって幻想的な雰囲気を醸し出しています。訪れた観光客から歓声が上がりました。外国語が飛び交い、記念撮影をする姿も絶えません。1960年代半ばには埋め立て計画が持ち上がりましたが、市民の反対運動で今日の姿を残しました。



（しんぶん赤旗 12月20日付）